みんなのちから

3月31日（金）　～　4月5日（水）

IN 国立曽爾青少年自然の家

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 午前 | 午後 | 夜 |
| 1日目 | 施設に向けて出発 | 仲間作りゲーム研修①「オリエンテーション」 | 研修②「ナイトハイク」 |
| 2日目 | 研修③「カートンドッグ」研修④「野外炊飯」 | 研修⑤「工作」 | 研修⑥「キャンプファイア」 |
| 3日目 | 研修のまとめ | まるかじりメンバー合流レクリエーション | ナイトハイク屋内レクリエーション |
| 4日目 | カートンドッグ野外炊飯 | 野外炊飯グループタイム | キャンプファイア |
| 5日目 | 清掃、思い出工作 | 片付け、休憩 | カウンシルファイア |
| 6日目 | 清掃、授与式施設を出発 | ランチタイム解散式 |  |

一日目：　　ついに始まりました、年度最後のキャンプ。今回は総勢14名のジュニアリーダー達が頑張ります。尼崎にて全体集合をし、曽爾へ向かいました。初めは以前から仲の良い友達と話していましたが、ここから既にリーダーとして意識を持って欲しい旨を伝えると、席替えや初めての方に積極的に声を掛けていっていました。施設に着く頃には14名が仲良くなっている様子でした。施設の麓に到着し、二名、もしくは三名の『バディ』に分かれました。このバディで実際に“春まるかじりツアー”のグループリーダーを務めていただきます。バディで親睦を深めていただく為に、午後のプログラムとして【他己紹介】を行います。それに向けて残りの距離をバディ同士でインタビューをしながら歩きました。他己紹介するためには沢山質問をしないといけません。初めはぎこちない様子でしたが、徐々に打ち解け、談笑の様子を伺うことが出来ました。昼食を済ませると、道中で聞いた内容からバディの他己紹介をしました。この頃には人前でもしっかり話せる姿が伺えました。他には仲間と距離を縮める為に、様々なレクリエーションを行いました。一つこなしていく事で名前を呼ぶ頻度が上がり、声掛けやフォローをするようになりました。入所後の施設の使い方やリネンの説明、入浴準備の説明などはジュニアに任せました。実際に“春まるかじり”では、メンバーの前で話していただきます。その為に、内容を含め、話し方についても皆で確認しました。夕食を食堂でいただき、夜は初めてプログラムの研修【ナイトハイク】です。春まるかじり中にも行うので、注意すること、意識することをプログラムを進めながら説明を受け、確認しました。一日が終わると最後は【振り返り】を行いました。感想とは違い、一日のうちで出来た事や出来なかった事、明日に繋げたい目標などを書き、リーダーと確認することで、より具体的な振り返りにさせていきます。明日から実技研修が沢山やってきます。寝られるうちに早く寝て、翌日に備えていきましょう。

二日目：　　今日一日は実技の研修が立て続けに行われます。全てのプログラムは、実際に“春まるかじり”にて行われるので、一つ一つの行程をしっかり頭に叩き込まなければいけません。朝食作りからスタートです。メニューは定番の【パックドッグ】です。これまでにキャンプなどで作った経験のある方もおられましたが、それを説明するとなると、話は変わってきます。野菜の切り方からアルミホイルでの包み方まで、皆が説明出来るようにポイントを押さえながら作りました。朝食後は、これまたキャンプの定番メニュー、【カレー】です。カレーのポイントは各担当ごとが行程に入るタイミングです。どの時に火をおこせばいいのか、カレー係とお米係に行程具合を確認されていました。２グループで出来具合が異なるカレーが完成したので、お互い味見をしつつ、なぜそうなったのかを確認し合いました。カレーを完食し、片付けをする頃に疲れが見えてきたようで、少しだらけが出てきました。メンバー同士仲良くなり、コミュニケーションが取れてきた事で、馴れ合いの関係になっている様子が伺えました。片付け後に自分達が今回、何故参加したのか、どういった目的や目標があるのかを皆で確認し、再認識

していただきました。午後は【焼き板】作りを行いました。道具の使い方、潜んでいる危険を作業しながら確認しました。色塗りはまるかじりメンバーと一緒にしていただきます。夕食、入浴を済ませ、夜のプログラムは、春まるかじりツアーで一番盛り上がる【キャンプファイア】について研修を行いました。四日目のキャンプファイアでは、実際にジュニアリーダーに演目をしていただきます。各グループで何をやるのか話し合いました。まるかじりキャンプが現実味を帯びてきたので、少し緊張をされてきたようです。その良き緊張感を持って、明日のまるかじりメンバーをお迎えしましょう。

三日目：　　今日はまるかじりメンバーと合流し、リーダーとなって皆の前に立つ日です。朝から緊張されている方や、念入りに確認されている方がおられました。朝食後は、昨夜行ったキャンプファイアの練習の続きです。決める際は、「いけるだろう。」とどこか余裕を見せていましたが、いざリハーサルを行うと、広いファイア場では声が通らなかったり、次にすることが出てこなかったりと困惑された様子が伺えました。そして施設にまるかじりメンバーが到着され、メンバーの元気な様子を見て、誰もが不安な表情を浮かべておられました。昼食もいつもの和気あいあいとした雰囲気はなく、後ろ姿は重苦しい様子でした。昼食後、ついにまるかじりメンバーと対面をしました。自分達がリーダーであることを紹介し、グループに分かれ、自己紹介をしました。皆、思っていた通りではなく、なかなか上手くいかず苦戦されていました。レクリエーションをしても、メンバーは楽しんでおられますが、ジュニアはグループをまとめることや、プログラムを進行することに必死で、あまり笑顔は見られませんでした。レクリエーション後、入所し、施設の説明を自分達で行いました。この頃には三日間の疲れと、グループを回すことへの疲れから、先程までのやる気と緊張はなくなっていました。そうなってしまうとやること言うこと、全てがなし崩しになってしまい、メンバーとの距離が離れ、グループが上手く機能していません。それでもメンバーをなんとかしようとする気力は残っており、なんとか無事に就寝指導まで進めることが出来ました。メンバーが就寝準備をしている裏で、今日一日の振り返りを行いました。頭で描いていた事が全く出来なかった自分。何をしたらいいのか分からなかった自分。“春まるかじりツアー”の進行スピードに付いていけない自分。様々な不甲斐ない自分自身と向き合う事で、明日に繋げていこうと話し合いました。人身共に疲労困憊な為、布団に入ると、瞬く間にお休みされました。

四日目：　　昨晩の振り返りで、自分の行いを改めると、朝から声を出し、名前を呼び、前に出て皆を引っ張っている様子が沢山伺えました。今日は、朝食作りからずっと屋外で活動を行います。ゆえに、服装の確認や忘れ物をしないよう何度も確認をし、出発しました。朝食の【パックドッグ】の作り方はこれまでに習得されているので、メンバーに教えている様子から自信が見受けられました。グループで作った朝食は、一味違うようで、今までで一番の笑顔が見られました。朝食後は、一番の山場である【カレーづくり】です。流れと係は把握されているので、メンバーと係に分かれて調理を開始しました。メンバーが刃物を使うときには傍で見守り、火を扱う時には注意を促し、物を運ぶときには引率し、常にメンバーの近くにいて、安全確保に努めておられました。カレーが完成する頃には、一緒に笑い合い、楽しんおられ、その姿は昨日とは全く異なっており、一人一人が輝いていました。今回、一緒に作ったカレーの味は、決して忘れるものではないと思います。どのグループも残す事なく完食され、大満足の様子でした。片付けでも、ジュニアは役割や立ち位置を分担し、効率よく動かれていました。結果、予想よりも早く終えることが出来、余った時間でレクリエーションをする事が出来ました。夕食までの間、最後のキャンプファイアの練習を行い、本番を迎えました。練習では声が小さかったり、早口になっていたり、台詞を忘れて戸惑っていたりされていましたが、メンバーの前では丁寧に取り組まれていました。結果、まるかじりメンバー皆は喜び、楽しまれていたので、キャンプファイアは大成功となりました。夜のミーティングでは、出来なかった事はありましたが、出来た事に手応えを感じており、自身を評価出来ておられました。

五日目：　　昨日のキャンプファイアでの大盛り上がりから、ジュニアとメンバーの距離は一段と近くなったように感じました。メンバーからジュニアの名前が頻繁に飛び交い、ジュニアもそれに応えておられました。朝から清掃をしないといけないので大忙しでしたが、メンバーと協力して時間どおりに終えることが出来ました。朝食を済ませた後はまるかじり最後のプログラム、【思い出工作、焼き板】作りです。メンバーに板を焼いていただくところから始めるので、研修で培った危険予知をしっかりと行い、怪我、火傷なく全員焼き切りました。その後は焼いた板への絵付けです。特に危険はないので、床や衣類を汚さないよう気を付けながら、談笑をしつつ楽しく絵を描きました。皆で名前を書き合っているグループや、完成した作品を発表しているグループもありました。焼き板が終わると、最後の昼食を済ませました。食事が終わると、メンバーとお別れの時間です。メンバーが荷物を運び出すあたりから、ジュニアから寂しそうな表情が伺え、メンバーがバスに乗り込むと、寂しさからメンバーの名前を何度も呼んだり、涙を流されたりする姿から、メンバーに対する想いが十分に伝わってきました。バスが見えなくなるまで手を振り、見送っておられました。見送り後に部屋に戻ると、これまでの緊張が解けたようで、安堵と疲労から緩んだ表情でした。夜に今回の総まとめである『カウンシルキャンドル』がありますので、それに向けてしっかり休息を取り、自分のこれまでの振り返りをしっかりしていただきました。想いをノートに書き、何度も読み返し、まとめておられました。そして夜になり、カウンシルキャンドルを迎えました。一人一人ご自身の言葉で発表されていました。活動に対して、話し方や接し方に対して、まるかじりメンバーに対して、バディに対して、自分自身に対して、話す内容はジュニアそれぞれでしたが、しっかり一言ずつ想いを乗せて話をされていました。

六日目：　　これまで怒濤の朝を迎えていたので、今朝はゆっくりと静かな起床でした。朝のつどいから朝食を済ませ、棟の清掃を行いました。本日は各グループごとで最後の振り返りを行いました。まるかじり三日間の振り返りからみんなのちから五日間の振り返りと、話す内容は尽きません。まだまだ話し足りない様子でしたが、時間がきたので切り上げ終えました。そして、今回ジュニアを頑張った成果として、賞状と認定バッチの授与式を行いました。一人ずつ名前が呼ばれ、賞状とバッチを受け取る様子は初日とは全く異なっており、一回りも二回りも大きく、頼もしい姿でした。皆で写真を撮り、施設に御礼を伝えて、出発しました。車内では、初めは談笑されていましたが、さすがの疲労から気が付けば全員休まれていました。本日の昼食は、これまで頑張ったご褒美として、“バーミヤン”で食事を取りました。グループごとでの最後の食事になりますので、楽しそうに過ごされていました。お店を出発し、解散場所の尼崎に戻ってきました。お別れを告げる際、再会を約束する様子が伺えました。六日間と長丁場、本当にお疲れ様でした。

＜キャンプ総括＞

この度、“みんなのちから”にご参加いただき、本当にありがとうございました。他のキャンプとは異なる内容となっており、楽しさよりもしんどさ、辛さが勝るものとなっています。ただ、『達成感や充実感』は、どのキャンプよりも深く感じる事が出来ます。キャンプが終わりしばらく経つと、疲れやしんどさは癒され、そこで改めてキャンプを振り返る事が出来ます。キャンプ中にこちらからお伝えした内容を１００％残せるとは考えておりません。一番心に感じた内容は、各々違っていると思っています。その一番心に残ったものが活動だけではなく、学校や私生活で活かされると信じています。『リーダーは一日にしてならず』です。今回のキャンプで学んだ、感じた内容は、氷山の一角に過ぎないので、また次回ご参加いただき、レベルアップを積み重ねていただけると幸いです。是非とも、来年の春にもお会いして、共に成長をしていきましょう！！　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（竹中　哲郎）